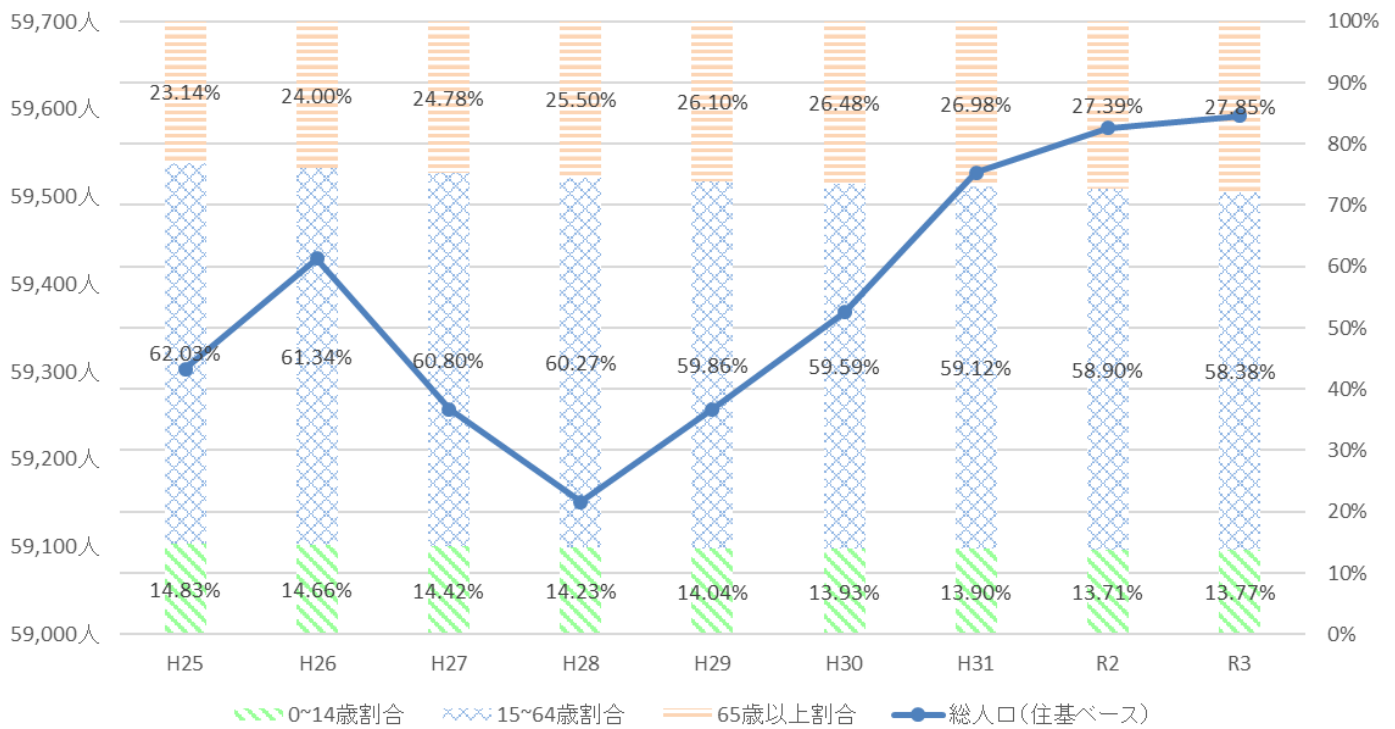


【小郡市の人口推移】

- ・近年の本市の人口推移傾向は、平成 28 年から微増傾向であり、特に御原校区や三国校区は大規模住宅開発等の影響もあり、人口増加が顕著である。
- ・年少人口（0～14 歳）割合、生産年齢人口（15～64 歳）割合は年々減少を続けており、老年人口（65 歳以上）は増加傾向である。

小郡市人口と年齢3区分別人口割合



小郡市人口

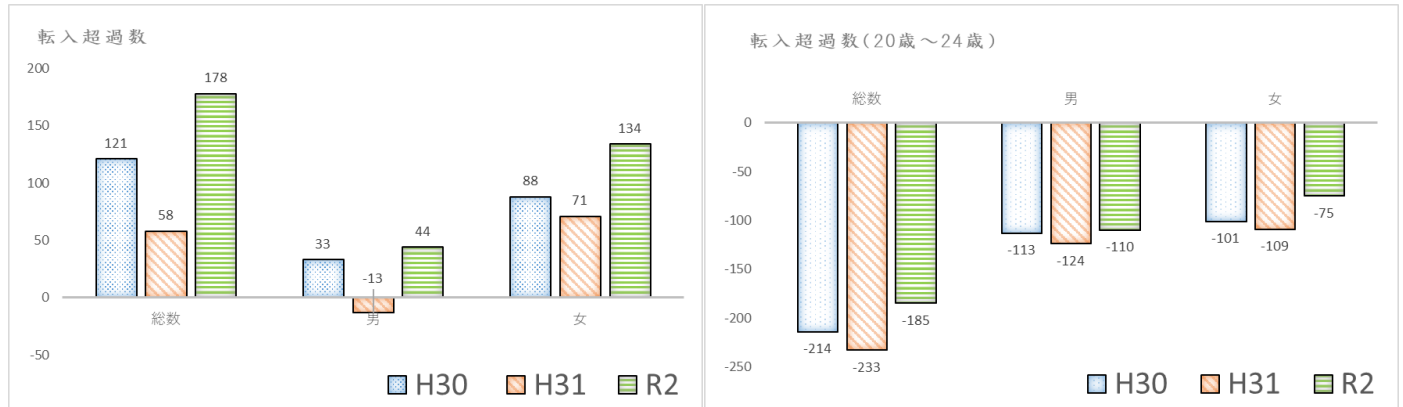
校区	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
小 郡	12,736	12,938	12,932	12,858	12,931	12,967	13,071	13,066	13,136
大 原	7,745	7,709	7,725	7,673	7,708	7,705	7,623	7,640	7,599
東 野	6,218	6,177	6,178	6,164	6,185	6,142	6,171	6,123	6,031
三 国	14,086	14,253	14,249	14,246	14,243	14,230	14,299	14,381	14,453
立 石	3,920	3,884	3,789	3,701	3,672	3,599	3,487	3,486	3,494
御 原	2,580	2,557	2,511	2,567	2,646	2,762	2,876	2,937	3,001
味 坂	2,649	2,599	2,583	2,558	2,530	2,491	2,491	2,449	2,398
のぞみが丘	9,369	9,312	9,290	9,384	9,342	9,472	9,509	9,496	9,480
合 計	59,303	59,429	59,257	59,151	59,257	59,368	59,527	59,578	59,592

資料：住民基本台帳 3 月末日時点

【人口移動の状況】

過去3年の転入超過数を比較すると、令和2年度の転入超過数が一番多く、新型コロナウイルス感染症等が影響し、転出数が減少したことが考えられる。

また、本市で転出数が一番多い20～24歳でも、同様の傾向が見られ、就職等で市外や県外への転出が減少したと推察する。



住民基本台帳人口移動

転入元・転出先 市町村等			2018 (H30年)			2019 (R1年)			2020 (R2年)		
			転入	転出	転入超過数	転入	転出	転入超過数	転入	転出	転入超過数
九州	福岡県	福岡市	295	363	-68	260	364	-104	276	362	-86
		久留米市	303	286	17	279	204	75	285	198	87
		筑紫野市	278	171	107	218	131	87	231	141	90
		春日市	46	32	14	42	24	18	53	25	28
		大野城市	61	49	12	70	40	30	53	45	8
		太宰府市	94	43	51	75	43	32	65	44	21
		朝倉市	69	30	39	53	28	25	49	41	8
		筑前町	67	58	9	46	80	-34	56	59	-3
		大刀洗町	85	80	5	73	75	-2	50	99	-49
		その他	278	231	47	312	251	61	312	191	121
	福岡県 計		1,576	1,343	233	1,428	1,240	188	1,430	1,205	225
	佐賀県	鳥栖市	88	114	-26	71	104	-33	99	91	8
		基山町	37	49	-12	45	43	2	46	46	0
		その他	63	59	4	51	69	-18	55	51	4
佐賀県 計		188	222	-34	167	216	-49	200	188	12	
その他県		350	317	33	283	252	31	249	239	10	
九州 計			2,114	1,882	232	1,878	1,708	170	1,879	1,632	247
東京圏			137	240	-103	145	255	-110	131	220	-89
その他都道府県			257	265	-8	260	262	-2	236	216	20
合計			2,508	2,387	121	2,283	2,225	58	2,246	2,068	178

※東京圏（東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県）

※日本人移動者に限る